

千葉県椿森公民館新築に伴う地盤調査地質柱状図(No.)

調査地点 _____
 調査年月日 昭和48年 6月16日～6月18日

標高 BM-0.788m 使用機械 ORV-100
 孔内水位 G.L-0.60m 孔径 76 mm

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標 準 貫 入 試 験					試 料 採 取 方 法	試 料 採 取 深 度 m					
										深 度 m	N 値 回	10m 毎の 打撃回数					N 値				
												10 cm	20 cm	30 cm			0	10	20	30	40
	-1.188	0.40	0.40			埋 土	D-L 腐植土 Lキ等														
1		0.90	0.50			シルトまじり 砂	粗粒不均一で細中砂のなるシルト多い														
2						腐植土	上部は2次ローム状を呈し微細砂まじり 下部に腐植物多量を含む		非常に 柔らかい												
3	-3.588	2.80	1.90			腐植土															
4						腐植土	ヒートリナリ。土分殆どない。		非常に 柔らかい												
5	-6.188	5.40	2.60			腐植土	含水量非常に多い。														
6						腐植土	細砂～中砂多量にまじり。含水量非常に多い。		非常に 柔らかい												
7	-7.733	6.95	1.55			腐植土															
8	-9.288	8.50	1.55			細 砂	細砂～微細砂のなり。少量のシルトを含む。部分的に赤褐色を呈す		ゆるい												
9	-10.488	9.70	1.20			シルト	全体が風化した浮石の		中位												
10	-10.988	10.20	0.50			粘 土	粘着力強い。粘土化した浮石を斑状に挟む														
11	-12.488	11.70	1.50			細 砂	細砂～微細砂のなり。部分的に淡黄灰色、黄褐色を呈す		中位												
12	-13.188	12.40	0.70			シルトまじり細砂	シルトを薄層状或は不規則に挟む		ゆるい												
13	-13.788	13.00	0.60			砂まじりシルト	細砂を薄層状(1~2%)に挟む		中位												
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19									非常に 密な												
20																					
21																					
22																					
23																					
24																					
25																					
26							粒径ほぼ均一で部分的に色調変化する														
27							中砂を極く少量含み														
28							稀に粘土化した浮石を挟む														
29							全体に雲母を含む														
30	-31.098	30.31	17.31+			細 砂															

RC杭で打抜けるかどうか?

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ◎-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア試料

2. 試験採取深度と回収比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度 (m)
45/50	
3.70	

 45/50に回収比50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ,

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数, 10cm~20cmの間で要した打撃回数, 20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。